

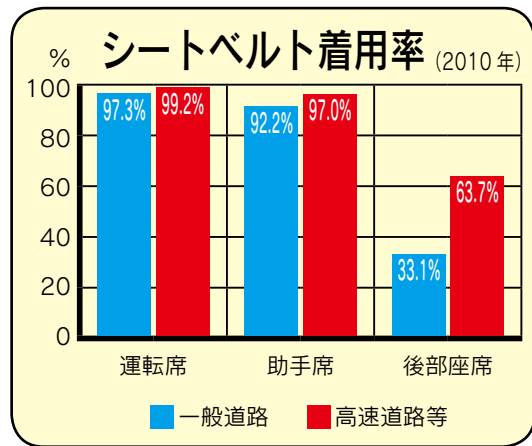
後部座席の方もシートベルトを！

昨 年実施した「シートベルト着用状況調査」によると、

一般道での運転者の着用率は97.3%、高速道路などでは99.2%と高い割合だったのに対し、後部座席はそれぞれ33.1%、63.7%でした。

衝突時の凄まじい衝撃は、どの座席に乗っていても伝わります。シートベルトを着用していない場合、致死率や車外に放出される率が格段に上がり、同乗者にも大けがを負わせてしまふことになります。

後部座席のシートベルト着用は、平成20年6月から義務化されており、着用することで、確実に交通事故による犠牲者が減ることは間違いありません。ですから、「面倒くわさず」「近くだから」「後部座席は大丈夫」と油断することなく、自動車に乗るときは、必ず全員がシートベルトを着用しましょう。



飲酒運転は絶対に許さない！

平 成18年8月25日、福岡市で飲酒運転により、尊い3人の命が奪われました。あれから5年の月日がたちますが、いまだに飲酒運転はなくなりません。何の罪もない人が、突然大切な命を奪われているのです。

飲酒運転により、奪われるものは、被害者の命だけではありません。被害者の家族の未来までも奪われます。また、加害者にとっても自分自身や家族の人生までも狂わすこととなります。

アルコールは正常な判断を狂わせます。お酒を飲む前に考えてください。代償がとて大きいことを体験してからでは遅いのです。

飲酒運転は自分の意思です。「ついで」「うっかり」はありません。お酒を飲むのはかまいませんが、1滴でもお酒を飲めば絶対に運転をしないと自分自身に徹底させてください。

また、家族や同僚など身近な人が飲酒運転をしていませんか。あなたの制止が必要です。

